

前回定例会（平成 26 年 5 月 14 日）以降の行政の動き

平成 26 年 6 月 4 日
新潟県防災局原子力安全対策課

1. 安全協定に基づく状況確認

5 月 27 日、柏崎市、刈羽村とともに、年間の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- | | |
|---------------------------------|------|
| ・平成 25 年度運転保守状況等報告 | 書類確認 |
| ・安全対策の進捗状況 | 書類確認 |
| ・荒浜側高台緊急車両、免震重要棟の強化、6 号機フィルタベント | 現場確認 |

2. 安全管理に関する技術委員会

(1) 福島第一原子力発電所事故の検証

5 月 22 日（木）、平成 26 年度第 1 回技術委員会を開催しました。

フィルタベント設備を使用する過酷事故の想定について議論し、極限ケースを含め 3 ケースについて検討を行うことになりました。

(2) 福島事故検証課題別ディスカッション

福島事故検証課題別ディスカッションを開催しました。各課題の開催状況は以下のとおりです。

福島事故検証課題別ディスカッション開催状況

課 題	開催実績		
	第 1 回	第 2 回	第 3 回
地震動による重要機器の影響	H25. 11. 07	H26. 1. 14	H26. 4. 28
海水注入等の重大事項の意思決定	H25. 11. 19	H26. 1. 31	<u>H26. 5. 19</u>
東京電力の事故対応マネジメント	H25. 11. 14	H26. 2. 4	H26. 4. 26
メルトダウン等の情報発信の在り方	H25. 11. 14	H26. 2. 4	H26. 4. 26
高線量下の作業	H25. 11. 30	H26. 1. 18	H26. 5. 8
シビアアクシデント対策	H25. 10. 31	H26. 1. 25	

議論の概要は、事務局で取りまとめたのち公開しています。当日の資料等、詳細につきましては、以下の原子力安全対策課のホームページからご覧になれます。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

3. その他

5 月 15 日：報道発表 [安定ヨウ素剤について、さらなる調達により、福島県からの借用分及び期限切れ活用分が解消されます。] 別紙参照

5 月 21 日：報道発表 [大飯原発運転差止訴訟の判決についての知事コメント] 別紙参照



平成26年5月15日
福祉保健部医務薬事課

安定ヨウ素剤について、さらなる調達により、福島県からの借用分及び期限切れ活用分が解消されます。

4月28日にお知らせしたとおり、当面必要な安定ヨウ素剤の配備水準は確保されているところですが、このたび、5月16日にさらに調達を行うことにより、緊急的な対応としての福島県からの借用分と期限切れ在庫活用分は解消されます。

【参考】

区 域	人 数 (人)	必 要 量 (錠)	5/2時点の配備量 (錠)	5/16時点の配備量 (錠)
即時避難 区域(PAZ)	a 21,700	c 122,000	168,000 (4/25調達分等)	168,000 (4/25調達分等)
避難準備 区域(UPZ)	b 444,800	d 831,000	172,000 (4/28調達分) 328,000 (5/2調達分) ※200,000 (福島県から借入分) ※140,000 (期限切れ在庫分)	172,000 (4/28調達分) 328,000 (5/2調達分) ※ 0 (福島県から借入分) ※ 0 (期限切れ在庫分) 826,000 (5/16調達分)
うち 40歳未満	165,000	273,000		
合 計	a + b 466,500	c + d 953,000	1,008,000	1,494,000



本件についてのお問い合わせ先
医務薬事課 課長 水沢泰正
(直通)025-280-5782 (内線)2540

平成26年 5月21日

防 災 局

大飯原発運転差止訴訟の判決についての知事コメント

本日、福井地方裁判所で大飯原発3、4号機運転差止訴訟の判決の言渡しがあり、裁判所は原告の請求を認容しました。

従前から申し上げているとおり、原子力発電所の安全確保のためには、福島第一原子力発電所事故の検証・総括が不可欠です。それがなければ、同じことを繰り返す恐れもあり、原子力発電所の安全が確保できないものと考えています。

また、原子力発電所内の性能基準のみでは安全確保はできません。原子力規制委員会には、基準策定の段階で、2007年の中越沖地震の経緯等も踏まえて意見を出ささせていただきましたが、黙殺という状況でした。地域の安全を如何に確保するかという組織の本来の目的を果たして、実効性のある対策をすみやかに構築していただきたいと思います。また、田中委員長は面会拒否を改め、立地自治体の声を十分に聞いていただくとともに、政府及び関係機関へも必要な勧告権を行使していただきたいと考えております。

なお、関西電力大飯発電所に関する訴訟については、責任を持って情報を収集し分析する立場にはありませんので、新潟県知事としてのコメントは控えさせていただきます。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課長 須貝

(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

福島事故検証課題別ディスカッション 海水注入等の重大事項の意思決定（第3回）

日時 平成26年5月19日(月) 13:30～16:30

場所 県庁行政庁舎203会議室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明及びディスカッションの進め方等
- 3 ディスカッション

テーマ 海水注入等の重大事項の意思決定

＜議論のポイント＞

- ・海水注入の意思決定に問題はなかったのか
 - ・ベントの意思決定に問題はなかったのか
 - ・非常用復水器（IC）の操作等に問題はなかったのか

- 4 閉会挨拶

出席者

区分	職名		氏名
委員	コア	多摩大学情報社会学研究所教授	山内 康英
	メンバー	京都大学名誉教授	吉川 榮和
		日本原子力研究開発機構安全研究センター燃料安全研究グループ非常勤嘱託	鈴木 元衛
東京電力		原子力運営管理部長	五十嵐 信二

座席表

山内委員 吉川委員 鈴木委員

東京電力

--	--

東京電力

--	--

	事務局	
	オブザーバ	

入口

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会 (平成 26 年度第 1 回)

会 議 次 第

日 時：平成 26 年 5 月 22 日(木) 13:30～16:30

場 所：自治労会館 6 階大ホール

1 開会挨拶

2 議題

(1) フィルタベント設備の検証

- ・フィルタベント設備の検証のための事故想定について
- ・フィルタベント設備の性能等について

(2) その他

3 報告事項

福島第一原子力発電所の状況について（東京電力）

4 閉会挨拶

[配 付 資 料 一 覧]

資料No. 1-1	技術委員会において検討するフィルタベントの使用形態
資料No. 1-2	フィルタベント設備に関する確認事項
資料No. 1-3	フィルタベント設備に関する確認事項 補足説明資料（東京電力）
資料No. 2	福島事故検証課題別ディスカッションの課題と議論の整理（イメージ図）
資料No. 3	福島第一原子力発電所の状況について（東京電力）